



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月28日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL https://www.nicca.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	10,476	△9.4	136	3.5	170	77.2	104	—
2019年12月期第1四半期	11,559	△2.8	131	△67.9	96	△74.6	△58	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △612百万円 (—) 2019年12月期第1四半期 18百万円 (△98.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	6.65	—
2019年12月期第1四半期	△3.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	54,137	21,628	36.0	1,240.55
2019年12月期	55,053	22,414	36.7	1,283.92

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 19,512百万円 2019年12月期 20,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

当社は、剰余金の配当について中間及び期末配当の年2回を基本方針としておりますが、通期連結業績予想を「未定」とすることから、2020年12月期の配当予想につきましても「未定」としております。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	17,710,000株	2019年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	1,981,260株	2019年12月期	1,991,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	15,721,240株	2019年12月期 1 Q	15,696,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により現段階において合理的に算定することが困難になったことから未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦問題や新興国経済の停滞による海外需要の悪化により、製造業を中心に弱さがみられ、全体的に低調に推移しました。また、世界的な拡大をみせる新型コロナウイルス感染症の影響により先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、持続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの全社経営戦略（「イノベーションの推進」「グローバルネットワークの強化と拡大」「『勝ち続ける』経営基盤の構築」）のもと、激変する経営環境に左右されない強固な経営基盤の構築を図っているところであります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は10,476百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益136百万円（同3.5%増）、経常利益170百万円（同77.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益104百万円（前年同期は58百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(化学品事業)

売上高は7,598百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント利益は268百万円（同89.2%増）となりました。

主力である繊維加工用薬剤は、ベトナムや南西アジアにおける市場開拓で伸長しましたが、顧客の稼働停止、消費量減少など、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中国を中心にグローバル全体で売上高が減少しました。さらに、アジア通貨に対する円高の影響もあり、化学品セグメント全体でも売上高が減少しました。

一方、昨年の方工場竣工などの設備投資により減価償却費が増加したものの、コスト低減推進などにより、セグメント利益は増加しました。

(化粧品事業)

売上高は2,749百万円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益は344百万円（同17.8%減）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいては、新型コロナウイルス感染症による市況の大幅悪化の影響を受けたものの、主力ブランド品の拡販により売上高の減少幅を縮小しました。また、山田製薬株式会社における化粧品製造受託事業において大口顧客の市場在庫の影響を受け大幅に売上減となったことや、アジア通貨に対する円高の影響もあり、化粧品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに減少しました。

(その他)

売上高は127百万円（前年同期比44.2%減）、セグメント利益は3百万円（同87.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、916百万円減少し54,137百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1,529百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,611百万円及び有形固定資産が678百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、130百万円減少し32,509百万円となりました。この主な要因は、借入金が1,158百万円増加した一方、流動負債のその他（主に未払金）が563百万円、支払手形及び買掛金が300百万円及び賞与引当金が411万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、786百万円減少し21,628百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が564百万円及びその他有価証券評価差額金が103百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年2月13日に公表いたしました業績予想から、2020年4月28日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正を行っております。新型コロナウイルス感染症の拡大と収束見通しが先行き不透明な中、国内においては、政府による緊急事態宣言と大型の経済対策に伴う影響を見通しづらい状況であり、また国外においても同様の状況であるため、現時点において、その影響を合理的に予測することは困難な状況にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,311	7,841
受取手形及び売掛金	9,831	8,220
商品及び製品	5,058	4,843
仕掛品	643	897
原材料及び貯蔵品	3,274	3,444
その他	1,143	981
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	26,258	26,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,434	14,090
機械装置及び運搬具（純額）	4,774	4,579
土地	5,239	5,147
その他（純額）	759	713
有形固定資産合計	25,208	24,530
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	349	338
無形固定資産合計	351	339
投資その他の資産		
その他	3,235	3,043
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,234	3,043
固定資産合計	28,795	27,912
資産合計	55,053	54,137

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,996	4,695
短期借入金	10,315	10,661
未払法人税等	192	183
賞与引当金	721	310
その他	2,957	2,393
流動負債合計	19,184	18,244
固定負債		
長期借入金	9,215	10,027
退職給付に係る負債	3,155	3,150
株式報酬引当金	72	76
その他	1,012	1,011
固定負債合計	13,455	14,264
負債合計	32,639	32,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,928	2,928
利益剰余金	16,058	16,030
自己株式	△1,481	△1,473
株主資本合計	20,404	20,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386	282
為替換算調整勘定	△223	△788
退職給付に係る調整累計額	△385	△365
その他の包括利益累計額合計	△223	△871
非支配株主持分	2,233	2,116
純資産合計	22,414	21,628
負債純資産合計	55,053	54,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	11,559	10,476
売上原価	7,977	7,029
売上総利益	3,581	3,446
販売費及び一般管理費	3,449	3,309
営業利益	131	136
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	5	4
持分法による投資利益	—	5
為替差益	—	22
受取補償金	—	25
助成金収入	3	14
その他	31	43
営業外収益合計	53	124
営業外費用		
支払利息	16	19
為替差損	24	—
売上割引	19	19
持分法による投資損失	4	—
通貨スワップ評価損	17	39
その他	6	12
営業外費用合計	89	90
経常利益	96	170
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	10
補助金収入	33	33
特別利益合計	33	44
特別損失		
固定資産除却損	4	0
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	125	213
法人税等	151	66
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26	146
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	42
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58	104

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△103
為替換算調整勘定	68	△675
退職給付に係る調整額	9	19
その他の包括利益合計	44	△759
四半期包括利益	18	△612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43	△544
非支配株主に係る四半期包括利益	61	△68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,334	2,995	11,330	228	11,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	26	27
計	8,334	2,996	11,331	254	11,586
セグメント利益	141	419	560	31	592

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	560
「その他」の区分の利益	31
セグメント間取引消去	6
全社費用（注）	△466
四半期連結損益計算書の営業利益	131

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,598	2,749	10,348	127	10,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2	2	17	19
計	7,598	2,751	10,350	145	10,495
セグメント利益	268	344	612	3	616

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	612
「その他」の区分の利益	3
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△484
四半期連結損益計算書の営業利益	136

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。